

🌳 シーサイドラインに沿って公園めぐり 🌳

日時:2019年7月20日(土) 天候:曇り一時小雨 18000歩 約13km

集合:京急能見台駅 10時

コース:能見台駅→野口記念公園→長浜公園(野鳥観察園)→富岡八幡公園→見晴台→富岡総合公園→新杉田公園
→JR新杉田駅

参加者:高橋文(L) 平嶋(SL) 勅使河原 神谷 平石 仲 大平 奴田 小野里 青松 菊池 斉藤 中村年 小林
伊藤美 小島 福士 山川 平林勝 志村 桑原 吉岡 鈴木孝 吉田正 飯田 計25名

戦争はゴメンですが、以前から海軍航空隊には興味があり関連本は殆ど読み切りました。特に今回のコース上にある富岡総合公園は、大正5年に置かれた横須賀海軍航空隊の水上機隊として、昭和11年に開隊した横浜海軍航空隊(飛行艇)の跡地でもあり、見晴台に上がると、眼下にはかつて飛行艇が離発着した光景が目に浮かびますが、この飛行場を離水した飛行艇は、遙か南方のサイパン方面の前線基地まで飛んでいました。また隣接する根岸飛行場は日本で初めての民間飛行場で、南方諸島のパラオへの定期空路が開設されていましたが、終戦直後の昭和20年9月に台湾に向けて飛んだのが、この飛行場からの最後の飛行となったそうです。あ、つい航空隊の話が先になってしまいましたけど……

集合駅の能見台駅は、以前は「谷津坂」と言う駅名でした。京急が西側を住宅地として開発するにあたり、江戸時代から知られた景勝地「能見堂」に因み改名されたとのこと。現在の国道16号線に沿った東側は、かつてはすぐそこまで海でしたが、今では埋め立てられて住宅や工場倉庫地帯となっています。今回のコースはタイトル通り、海を感じながらのウォーキングでしたが、巡るどの公園もよく整備されていて木々の緑も多く目には優しかった！ ただ朝から猛烈に湿度が高く、全員が頭からつま先まで汗でびっしょりの一日となりました。

<フォトレポート 小島>



★慶珊寺で灯籠と黒松を背に全員集合。溢れんばかりの笑顔ですが・・・何か言った？(記憶にございません！)



能見台駅前。朝から話に花が咲いて・・・女子会？



ではこちらは“青年会”？（数十年前ならね！）



駅を出たら早速この上り坂が・・・



L & S Lは軽やかに上がるが・・・



見よ、この急階段！もう息切れ？



地元の有志が作った案内板。



息が切れるはず。丘の上からはこの景色！



この公園でリーダー自らのストレッチ。



高橋文Lと平嶋S Lからコース説明。（帽子は無関係！）



住宅街を右に左に・・・ルート大丈夫でしょうか？



緑に包まれた野口記念公園に到着しました！



入館無料の旧細菌検査室です。



“細菌”を持ち込まないようにね！



この部屋は動物実験室でした。



入口にある野口英世像。



夫人のメリー・ロレッタ・ダージス。



あれ“笑い菌”に感染した人も！



検査室全景。すぐ前まで海だった。



こちらは現在の管理棟です。

※明治12年7月に、コレラの蔓延防止のため神奈川県地方検疫所が設置され、同年9月に三浦郡長浦（現横須賀市長浦）に設けられた「長浦消毒所」が横浜検疫所のはじまり。現在の場所（横浜市金沢区長浜）に移転したのは明治28年、その際に名称も「長濱検疫所」とされた。明治32年4月、「横浜海港検疫所」と改名。同年5月、北里柴三郎の助手だった野口英世（当時22歳）は検疫医官補として勤務。入所すぐの6月、横浜港に入港しようとしていた「亜米利加丸」の乗員から、検疫所初となるペスト患者を発見、隔離という成果をあげた。（パンフレットより抜粋）



表門から出る何時ものスタイル？



すぐ前には横浜高校の練習場が。



松坂大輔の記念碑が建っていた。



長浜公園野鳥観察園観察小屋で野鳥の姿を見ることに。



汽水池にはサギやカモたちが生息しています。



遙か遠くにカワセミ発見！観察小屋からはかなり離れているので全く逃げず。(コンデジではこれが限界)



野鳥よりもまず休憩だ～（鳥たちに笑われますよ）



これが正しい観察スタイル！（双眼鏡持参とはさすが）



園内には4カ所の野鳥観察小屋があります。池の中には小さな干潟があり鳥たちの休憩場所になっている。



なにやら熱心に話し込んでいますが・・・焼鳥の話？



と思ったらまたお座り！（湿度が高くてもうぐったり）

《長浜公園》

公園の「長浜」の名は、柴から富岡に伸びる長い浜があったところから名づけられた。横浜横須賀道路をはさんで、北側と南側の2つに分かれた公園。野鳥観察園の中にある汽水池は、明治28年、長浜検疫所開設時につくられた船溜りの跡で、水路で海とつながり水位変化がある。



横横道路を渡った広場にはミストが・・・涼しそう！



早速我々も・・・だがすぐに止った！（シニアはダメ？）



ここでも休憩。今日は必要です。



さあランチ場所へ向けて出発。



この「ふなだまり公園」でお昼に。



小雨も屋根があるのは一部なので、各自ばらばらに陣取ってのランチに。



ここは木の下で殆ど濡れなかった！



食べていたら鳩が集まってきた。明治時代はここに外国船も入港した。



ボクもお昼だけど・・・何かくれないかな～



メロンパンはデザートだ、絶対やらないぞ～!



公園を出て富岡八幡宮へ。



赤い鳥居が入り口です。



しは“湿気祓い”のお願い?



花翁山慶珊寺で集合写真を撮りました。



門前には「孫文先生上陸の碑」が建っている。



「芋観音」の長昌寺。芋とは疱瘡のことだそうです。



境内の裏には直木三十五の墓がありました。



ここから富岡総合公園に入る。



緑が多い公園で気持ちが良い。



これは浜空神社の慰霊碑。



公園を貫く道路に元横浜海軍航空隊隊門が残っている。海軍では海に近い方を正門とするのでここは裏門。



全員が汗だく。飲んでもすべて汗で出てしまう。まるでサウナにいるような・・・もう倒れそうだ～



休憩の後にはこの上りが待っています！



この坂の名はアジサイ坂。まだ所々咲いていました。



リーダーを先頭に見晴台を目指して黙々と行軍・・・



出た～芝生広場の見晴台に到着です。広い！



眼下には住宅や工場倉庫群が建ち並んでいますが、かつてここは海で横浜海軍航空隊の飛行艇基地がありました。

<横浜海軍航空隊とは> ※前文と一部ダブリますが・・・

建設に手間取る陸上飛行場の代替処置として、内南洋諸島の偵察活動を円滑に進めるため、飛行隊部隊の設立計画を盛り込んだ。初めての飛行隊部隊として1936年(昭和11年)10月1日、横浜市磯子区(現在は金沢区)根岸海岸に横浜海軍航空隊を開いた。横須賀鎮守府所属で飛行艇は12機。同時に基地内には大日本航空所属の南洋航空路用飛行艇も間借りした。1945年(昭和20年)8月終戦となり解隊。戦後使用していた基地は米軍の通信基地、朝鮮戦争の頃からは富岡倉庫地区としても使用され、この倉庫地区は1971年(昭和46年)に返還された。現在は神奈川県警の機動隊基地や富岡総合公園になっている。



日本初の四発大型飛行艇「九七大艇」。無着陸でサイパンまで飛べた。

↑スベリから海に出る飛行艇。



九七大艇の後継機「二式大艇」。当時世界最高の性能を誇った。実物は鹿屋自衛隊基地に展示。



遠い海を眺めて思い出に浸る人も・・・



海に背を向け人生を考えている人も・・・



暫しここでまったりと過ごし、出発前に集合写真を撮る。疲れも見せず笑顔で・・・有難うございました！



富岡総合公園を出てゴールの新杉田駅へ向かう。



途中には航空機整備の名門、日本飛行機横浜工場が。



新杉田公園でクールダウン。身体の節々が痛い～



ここでトイレ休憩。駅までもう少しです。



本日最後の上りはこの歩道橋でした！



新杉田駅のガード下で解散。皆さんお疲れ様でした。

<今日の一言>

くどいようですが、この日の漢字一字は「汗」でした。今風に言えば“ハンパない”蒸暑さで、男女を問わず全身汗まみれ！こんなことならもっと大きめのウチワを持って行くべきだった。しかし長浜公園では全員がカワセミを見ることが出来、私にとっては横空跡地を歩けたので十分満足です。そういえば以前に貝山緑地の追浜飛行場跡にもウォークで行ったので、東京湾西側にあった海軍航空基地はほぼ探索したことに。今はその跡地が緑溢れる公園となっているのも鎮魂のためでしょうか？

結構アップダウンがあったが、誰も“文句”一つ言わずに歩いたのは、これ偏にリーダーの“人徳”かと思われました！

END